

産婦人科

当科の方針と特徴

患者さんに良質の医療を提供すると共に、高度先進医療を含む高度医療も積極的に導入することを目指している。診療領域としては妊娠・分娩に関する周産期医療、婦人科良性及び悪性疾患に対する手術を中心とする婦人科医療、骨盤臓器脱を含めた女性ヘルスケア医療を取り扱っている。高度不妊治療に関しては地域のクリニックへのご紹介を含めた連携を行っている。

周産期医療に関しては、地域周産期センターとして、また大阪府産婦人科診療相互援助システム(OGCS)の準基幹病院として、年間約700の分娩を管理している。ほとんどを個室化して、プライバシーに配慮した環境で、小児科との連携を常に行いながら総合病院ならではの安全な分娩を目指している。

婦人科良性疾患に対しては、腹腔鏡や子宮鏡を用いた患者さんの身体に優しい鏡視下手術の適用を積極的に行っている。しかしながら高リスク症例に関しては術前カンファレンスで十分検討することにより術式を検討している。

悪性疾患に対しても機能温存を可能な限り考慮しているが、この場合根治性の担保を常に念頭に置き、術前カンファレンスで十分に討議して治療方針決定を行っている。子宮頸がんには、以前よりセンチネルリンパ節検索を用いた広汎性子宮全摘術、広汎性子宮頸部摘出術(トラケクトミー)を施行し良好な成績を得ている。また子宮頸がんに対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術に関しては当施設は学会認定施設である。子宮体がんに対しても保険算定の腹腔鏡下あるいはロボット支援下の子宮体癌根治手術を施行している。放射線治療は放射線科とのカンファレンスを通じて、綿密な治療計画をたてている。抗がん剤治療は基本的には通院治療可能であり、腫瘍内科医との連携のもと外来化学療法室において十分な監視のもと施行している。また術後の合併症であるリンパ浮腫や排尿障害に対するサポート・治療が、看護師外来も含めてなされて効果をあげている。

女性骨盤外科分野は、メッシュ使用をとりやめ、従来からの骨盤臓器脱に対する治療を継続している。合併症や年齢に応じた治療が選択されて、高齢者の場合でも安全な治療となっている。骨盤臓器脱に対するペッサリー治療に関しては看護師主導の管理外来を開設しており、良好な治療定着率を得ている。

(a) 産婦人科スタッフ医師17名(令和5年12月31日現在)

医師名	卒業年	出身校名	着任年月日	身分
樋口壽宏	昭和62年	滋賀医科大学	平成29年5月1日	主任部長
吉岡弓子	平成11年	大阪市立大学	平成30年10月15日	副部長
関山健太郎	平成12年	京都大学	令和3年5月1日	副部長
奥田亜紀子	平成15年	大阪医科大学	平成30年8月1日	副部長
小菌祐喜	平成18年	大分大学	平成25年4月1日	副部長
森部絢子	平成22年	京都大学	令和4年1月1日	医員
児嶋真千子	平成23年	鳥取大学	令和3年8月1日	医員
河合恵理	平成25年	奈良県立医科大学	令和元年5月1日	医員
岩井夏実	平成25年	長崎大学	令和5年8月1日	医員
山内綱大	平成27年	神戸大学	令和4年5月1日	医員
高折彩	平成26年	和歌山県立医科大学	令和3年4月1日	医員
中村しほり	平成28年	新潟大学	令和4年10月1日	医員
大月美輝	平成29年	京都大学	令和5年4月1日	医員
檜原由樹	令和2年	大阪市立大学	令和4年4月1日	専攻医
阿部秋子	令和2年	熊本大学	令和4年4月1日	専攻医
井関莉花	令和3年	神戸大学	令和5年4月1日	専攻医
榎田美緒	令和3年	富山大学	令和5年4月1日	専攻医

(b) 臨床業績等（令和5年1月～令和5年12月）

総外来患者数：25,493人
総入院患者数：1,882人
総手術件数：1,007件（小手術も含む）
病床数：52床（一部混合）
日本産科婦人科学会専攻医指導施設
周産期専門医制度指定研修施設
日本婦人科腫瘍学会指定修練施設
日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設

(c) 令和4年産婦人科主要手術件数：令和5年1月～令和5年12月

婦人科手術	件数	備考
単純子宮全摘術	96件	開腹39件、腹腔鏡下55件、ロボット2件
良性卵巣腫瘍摘出術	135件	開腹5件、腹腔鏡下130件
子宮筋腫核出術	17件	開腹14件、腹腔鏡下3件
異所性妊娠手術	14件	開腹0件、腹腔鏡下14件
骨盤臓器脱手術	10件	
子宮鏡下検査・手術	224件	腰麻39件、病棟手術185件
子宮頸部円錐切除術	123件	腰麻39件、病棟手術85件
広汎子宮全摘術	10件	開腹8件、腹腔鏡下2件
広汎子宮頸部摘出術	1件	開腹0件、腹腔鏡下1件
準広汎子宮全摘術	5件	開腹3件、腹腔鏡下2件
子宮体がん手術	35件	開腹14件、腹腔鏡下12件、ロボット9件
卵巣がん手術	34件	
再発がん手術（IDS含む）	4件	
その他	19件	
婦人科手術合計	727件	
産科手術		
帝王切開	204件	
頸管縫縮	7件	
吸引分娩	31件	
外回転	8件	
流産手術	30件	
産科手術合計	280件	

(d) 産科実績（令和5年1月～令和5年12月）

総分娩数（22週以降）：710件
帝王切開術：204件
NICU：有
母体外管理可能週数：妊娠26週以後
新生児に対する小児科の対応は、当直あり、24時間常時対応可能。

(e) 学会発表、論文・著書

【学会発表】

- 1 第110回日本泌尿器科学会総会
シンポジウム20
婦人科における骨盤リンパ節郭清の特徴
関山健太郎
2023年4月21日
兵庫
- 2 The 10th IGES National Congress
35th ISGE Annual Meeting 2023
Simultaneous Symposium 7: Oncology
How to approach the paracervical area in laparoscopic radical hysterectomy
Kentaro Sekiyama
May 26th, 2023
Indonesia
- 3 城南地区 婦人科腹腔鏡セミナー2023
術野展開を制し、手術解剖を制す。～腔と靭帯を知る～
関山健太郎
2023年6月3日
東京
- 4 第5回女性骨盤外科鏡視下手術セミナー
神経温存広汎子宮全摘術における傍子宮頸部組織へのアプローチ方法
～骨盤神経叢の立体構造と子宮枝・膀胱枝の分離～
関山健太郎
2023年6月30日
博多
- 5 第65回日本婦人科腫瘍学会
ワークショップ2 我々はこうしている～子宮頸癌手術におけるMISの工夫～
鏡視下における膀胱子宮靭帯前層処理と岡林の腔側腔展開の実際
関山健太郎
2023年7月15日
島根
- 6 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会
ロボット子宮体癌手術におけるサージセルニューニット®と縫合糸を用いた多方向牽引法
Multidirectional traction method using SURGICEL NU-KNIT and surgical suture in robot-assisted laparoscopic surgery for endometrial cancer
山内綱大、関山健太郎、大月美輝、中村しほり、高折彩、児島真千子、奥田亜紀子、吉岡弓子、樋口壽宏
2023年9月14日～16日
滋賀
- 7 第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会
安全な基靭帯処理・腔管切開のために ～前だけでなく後ろが大事～
岩井夏実
2023年9月14日～16日

滋賀

- 8 第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会
当院における鼠径部子宮内膜症 23 症例の治療経験（学会賞論文部門受賞）
岩井夏実
2023 年 9 月 14 日～16 日
滋賀
- 9 第 46 回日本産婦人科手術学会
シンポジウム 2
医療塾討論会：広汎子宮全摘 手術解剖学の見解の相違について
質問 I-3
関山健太郎、志岐保彦
2023 年 9 月 30 日
東京
- 1 0 第 46 回日本産婦人科手術学会
シンポジウム 2
医療塾討論会：広汎子宮全摘 手術解剖学の見解の相違について
質問 I-5
関山健太郎
2023 年 9 月 30 日
東京
- 1 1 第 46 回日本産婦人科手術学会
シンポジウム 2
医療塾討論会：広汎子宮全摘 手術解剖学の見解の相違について
質問 II-3
関山健太郎
2023 年 9 月 30 日
東京
- 1 2 第 38 回日本女性医学会学術集会 ポスター発表
「薬物療法抵抗性の鼠径部内膜症に対して手術治療を行った 1 例」
河合恵理
2023 年 12 月 2～3 日
徳島
- 1 3 第 36 回日本内視鏡外科学会総会
病理学的見地から考える腹腔鏡下卵巣成熟のう胞性奇形腫摘出術
岩井夏実
- 1 4 Beijing Obstetrics and Gynecology Hospital BOGH' s 15th Annual Meeting
Precise Neurovascular Anatomy for Radical Hysterectomy
Kentaro Sekiyama
December 16th, 2023
virtual meeting

- 1 5 日本産科婦人科内視鏡学会 第3回 拡大学術研修会
子宮頸癌～腫瘍拡散の防止と切除範囲の管理～
関山健太郎
2024年1月14日
兵庫

【論文】

(原著論文)

- 1 Okuda A, ... Long-term vs short-term tocolysis with ritodrine hydrochloride: Propensity score-matched analysis. *Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol.* 2023 Mar; 282:77-82. (査読有り)
- 2 Yamamura A, ... The impact of assisted reproductive technology on the risk of postpartum hemorrhage: Difference by the mode of delivery and embryo transfer. *J Obstet Gynaecol Res.* 2023 Apr;49(4):1167-1172. (査読有り)
- 3 Sakakibara A, ..., Higuchi T*, ... Trends and future projections of cervical cancer-related outcomes in Japan: What happens if the HPV vaccine program is not implemented? *Int J Cancer.* 2023 May 1;152(9):1863-1874. (査読有り)
- 4 Yamauchi K, ... Multidirectional traction method using SURGICEL NU-KNIT® and surgical suture in robot-assisted laparoscopic surgery for endometrial cancer. *J Minim Invasive Gynecol.* 2023 Oct 22; S1553-4650(23)00904-4. (査読有り)
- 5 Mizuta Y, ... Vaginal malignant peripheral nerve sheath tumor treated with complete surgical resection and postoperative radiation therapy. *J Obstet Gynaecol Res* 2024 Jan;50(1):133-138 (査読有り)
- 6 Yamamura A, ... Predictive score for postpartum hemorrhage in vaginal deliveries following frozen embryo transfer. *Turk J Obstet Gynecol.* 2023 Dec 8;20(4):249-254. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Kashihara Y, ... Successful fertility preservation in stage II endometrial carcinoma with long-term progestin therapy: A case report. *Gynecol Oncol Rep.* 2024 Feb 29;52:101357. (査読有り)
- 2 Yamamura A, ... Coexistence of ovarian cancer and peritoneal tuberculosis: a case report *International Cancer Conference Journal* <https://doi.org/10.1007/s13691-023-00649-z> (査読有り)
- 3 奥田亜紀子、樋口壽宏、久保のぞみ、中村しほり、山内綱大、児嶋真千子、小菌祐喜、関山健太郎、吉岡弓子 外科的介入により乳癌からの転移性卵巣腫瘍と判明し、治療戦略立案に有用であった1例 *日本婦人科腫瘍学会雑誌* 41:251-257, 2023 (査読有り)
- 4 浅井麻由、吉岡弓子、水田結花、小菌祐喜、奥田亜紀子、関山健太郎、本庄 原、樋口壽宏 診断に苦慮した外陰発生の粘液炎症性線維芽細胞肉腫 (myxoinflammatory fibroblastic sarcoma) の1例 *産婦の進歩*第 76: 69-78, 2024 (査読有り)

【研究】

- 1 低侵襲広汎子宮全摘術の腫瘍学的予後の検討 (関山健太郎、奥田亜紀子、児嶋真千子、河合恵理、高折彩、山村聡俊)
- 2 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の手術手技に関する検討 (関山健太郎、吉岡弓子、山内綱大、高折彩、久保のぞみ、井関莉花)
- 3 広汎性子宮頸部摘出術の腔式手術への発展 (樋口壽宏、小菌祐喜、児嶋真千子、河合恵理、水田結花、櫻原由樹)
- 4 ロボット支援下の子宮体癌手術におけるセンチネルリンパ節検索の有用性の検討 (吉岡弓子、関山健太郎、山内綱大、久保のぞみ、水田結花、阿部秋子)

- 5 腹腔鏡下子宮全摘術における尿管損傷回避のための術式検討（関山健太郎、樋口壽宏、奥田亜紀子、児嶋真千子、河合恵理、山村聡俊）
- 6 腹腔鏡下子宮筋腫核出時の筋腫細切術の工夫（樋口壽宏、小菌祐喜、山内綱大、森部絢子、久保のぞみ、檜原由樹）
- 7 婦人科癌手術における深部静脈血栓症の発生についての検討（小菌祐喜、吉岡弓子、奥田亜紀子、河合恵理、高折彩、阿部秋子）
- 8 40歳超高年初産婦の周産期予後に関する検討（奥田亜紀子、小菌祐喜、森部絢子、久保のぞみ、山村聡俊、槇田美緒）
- 9 切迫早産管理時の Short term tocolysis の有用性に関する検討（奥田亜紀子、森部絢子、河合恵理、高折彩、檜原由樹）